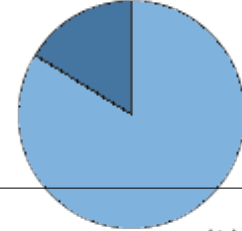


福山市総合防災訓練に係る自主防災組織アンケート結果（概要）

1 総合防災訓練への参加状況（全80学区）

参加しなかった, 16%

参加した	67学区	84%
参加しなかった	13学区	16%



参加した, 84%

【参加できなかった主な理由】

- ・訓練日が他の行事と重なった。
- ・別の日に学区訓練を計画していた。
- ・学区単位でなく、町内会単位で訓練を実施した。
- ・高齢世帯が地域に点在し、急坂が多いなど、避難場所への避難がかえって危険な地域のため、垂直避難など自宅内の安全な場所へ移動する訓練とした。

2 避難情報の伝達文について（緊急速報メール）

(1) 避難準備・高齢者等避難開始（9時）

（内容 1 / 2）

避難準備・高齢者等避難開始の発令（訓練です）

避難の準備を始めてください。

高齢者や障がい者など避難に時間のかかる方は、避難が必要です。避難の支援を担当されている方は、避難を呼びかけ、最寄りの避難場所へ誘導してください。

避難場所は次のメールでお知らせします。（訓練です）〔続く〕

（内容 2 / 2）

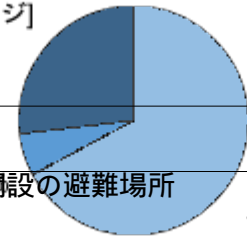
避難準備・高齢者等避難開始の発令（訓練です）

避難場所は次のとおりです。

【避難場所】（省略）（これは、訓練です。）〔以上〕

良かった	45学区	67%
良くなかった	4学区	6%
どちらともいえない	18学区	27%

[パーセンテージ]



良かった, 67%

【それぞれの主な理由】

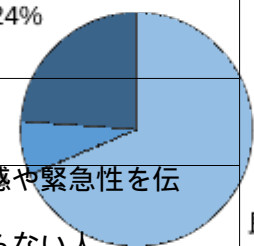
良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起の点では良かった。 ・具体的な内容で分かりやすい。
良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・市が開設する避難場所しか伝達されない、（自主開設の避難場所など）
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難に時間のかかる人は避難開始してください」の方がよい。（小さい子どもなども対象となるため）

(2) 避難勧告(9時30分)

(内容 1/2)	
良かった	69%
<p>良く本市に記録的短時間大雨情報発表されました。被害発生のおそれが高まっており、全市を対象に避難勧告を発令します。学区に氾濫危険水位に達した〇〇川流域など浸水のおそれがある地域や、土砂災害警戒区域など土砂災害のおそれがある地域にいる方は「直ちに避難を開始」してください。追加避難場所は次のメールでお知らせします。*食糧・水・毛布など必要な物をご持参ください。</p> <p>避難場所は次のメールでお知らせします。(訓練です)〔続く〕</p> <p>(内容 2/2)</p> <p>避難勧告発令(訓練です) 【追加避難場所】(省略) 〔以上〕</p>	

それぞれの主な理由】

良かった	<ul style="list-style-type: none"> 避難の理由が明確で、持参品の指示もあり良かった。 必要な行動が分かりやすかった。 避難場所の指示が具体的であった。
良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> 切迫度をもう少し伝えられた方が良い。 持参品の具体例をもう少し増やした方が良い。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> 「次の情報を待っていては手遅れで良くなかった」危機感や緊急性を伝える内容の方がいい。 自分が災害のおそれのある場所にいるかどうか分からない人のために「〇〇地区は全員避難」とした方がいい。 列挙された避難場所の中から近くの避難場所を探すのに時間がかかる。

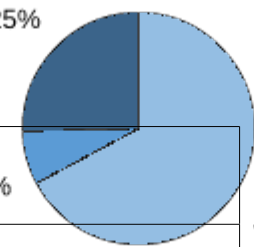


(3) 避難指示(緊急)(10時)

(内容)		
<p>避難指示(緊急)の発令(訓練です)</p> <p>本市に大雨特別警報が発表されたため、全市を対象に避難指示を発令します。被害発生のおそれが極めて高まっており、氾濫危険水位に達した〇〇川流域など浸水のおそれがある地域や、土砂災害警戒区域など土砂災害のおそれがある地域にいる方は「直ちに避難を完了」してください。外が危険な場合は、屋内の高いところへ避難するなど、命を守る最善の行動をとってください。(訓練です)</p>		
良かった	45学区	67%
良くなかった	5学区	8%
どちらともいえない	17学区	25%

【それぞれの主な理由】

良かった	<ul style="list-style-type: none"> 避難を促していることがよく伝わった。 必要な行動が分かりやすかった。 危機感を強く感じる事ができた。
良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時であり、短く読みやすい文章にしてほしい。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> 危険な状況をもっと意識させる内容が良い。 避難指示(緊急)は全市対象でなく、地域限定の発令がよい。



(4) その他、避難情報の伝達に関する気付きなど

- ・携帯電話を持っていない高齢者などへの周知方法を考えおく必要がある。
- ・避難勧告と避難指示(緊急)は、地域を限定した方が、切迫感が伝わる。
- ・きめ細かな情報伝達が住民の避難につながる。
- ・市から情報を受けた住民がどう行動するかが課題
- ・避難情報と合わせて、刻々と変化している状況も知らせしてほしい。
- ・第一報では判断等に必要最小限の情報を短文で伝え、詳細は続報で伝える方がよい。

3 避難場所について

(1) 市全域に避難勧告、避難指示(緊急)を発令した場合の開設方法等について

【開錠手順】・市立小中学校...市から連絡を受けた自主防災組織の方が、施設管理協力者から鍵を受取り開錠

・公民館	...市から公民館長に連絡し，開錠を依頼	
良かった	・その他	...市職員の開錠 33%
良くなかった	3 学区	4 %
どちらともいえない	1 6 学区	2 4 %
訓練では開錠をしていない	2 6 学区	3 9 %

【それぞれの主な理由】

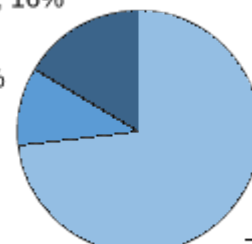
良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織も鍵を管理した方がよい。 ・避難場所開設の連絡の流れを確認することができた。 ・施設管理協力者にも開錠の手順がしっかり伝わっていた。 ・自主防災組織の中に鍵を管理している体育会の役員がいたので，今後は開錠を任せることとした。 	<p>良かった, 33%</p> <p>良くなかった, 4%</p> <p>どちらともいえない, 24%</p>
良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理協力者が開錠する方がよい。(鍵を取りに行く余裕がない。) ・施設管理協力者が不在の場合を想定し，複数の対応を準備しておくことが必要 	
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・市からの連絡前に自主防災組織が自主的に避難場所を開錠した。 	

(2) 「各学区の避難場所(案)一覧」について

一覧表の避難場所が良い	4 9 学区	7 3 %
別の避難場所が良い	7 学区	1 1 %
その他	1 1 学区	1 6 %

その他, 16%

別の場所が良い, 10%



【その他の主な理由】

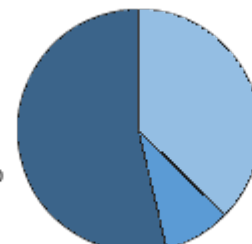
<ul style="list-style-type: none"> ・学区に1箇所の避難場所では少ない。避難場所まで遠い地域では歩いて行けない。 ・高齢者など避難に時間がかかる方は，高台や丈夫な建物など近くの安全な場所を確認しておいた方がいい。 	一覧表の場所が良い
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

(3) 避難場所での市職員の対応

良かった	2 5 学区	3 7 %
良くなかった	6 学区	9 %
どちらともいえない	3 6 学区	5 4 %

良かった, 37%

どちらともいえない, 54%



【それぞれの理由】

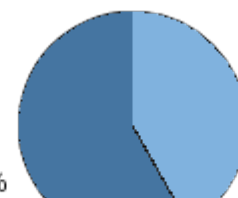
良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がベストを着用していて，どこにいるかが分かりやすかった。 ・土のう作りなどの作業に協力してもらい，対応は良好であった。 ・避難行動の説明や避難場所開設の手伝いをしてもらい，良かった。 ・情報の伝達や指示がテキパキとして分かりやすかった。 ・本部から伝達される情報の説明が適宜行われた。 	良くなかった, 9%
良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・何をするために2名も来たのか分からない。いつ帰ったかも知らない。 ・開錠前に到着しており，訓練のための訓練になっていた。 ・市本部への報告だけに注力しているように見受けられた。 ・避難訓練の終了後に帰らず，学区訓練が終わるまで残って意見や感想を言ってもらいたかった。 	
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・何のために来ているのか分からなかった。 ・職員の対応には限りがあり，住民で対応することを考えた方がよい。 ・自主防災組織と行政の役割等が明確になっていない。 ・今後は指導をお願いしたい。 ・自主防災で行うので，職員の対応は不要である。 	

(4) 避難場所の自主開設状況

3

あった, 42%

なかった, 58%



あった	28学区	42%
なかった	39学区	58%

【自主開設された避難場所数】 109箇所

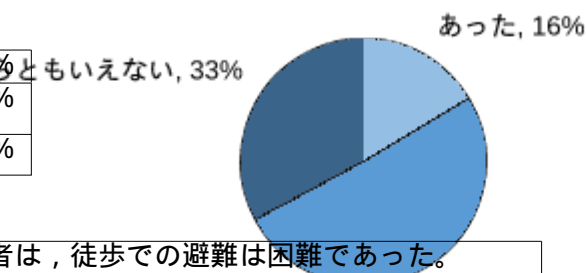
(5) その他，避難場所に関する気付きなど

- ・中学校を車の自主避難場所としたのは良かった。
- ・洪水・浸水の場合に多くの住民が避難できる場所が地域に少ない。
- ・避難場所に限らず，安全な場所を事前に確認しておく必要がある。（高い建物など）
- ・携帯電話が使えない場合の連絡方法を検討しておく必要がある。
- ・避難場所にも多少の備蓄物資があった方がいい。

4 訓練内容について

(1) 避難方法や避難経路などに関する課題

あった	11学区	16%
なかった	34学区	51%
どちらともいえない	22学区	33%

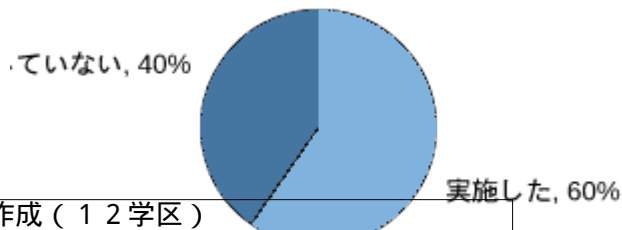


【それぞれの主な理由】

あった	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所まで距離がある高齢者は，徒歩での避難は困難であった。 ・学区の範囲が広いため，災害時は複数の避難場所を開設したい。 ・浸水のおそれがある場所を通して避難していたため，安全な経路を通ることの徹底が必要 ・学校校舎内の進入経路等の表示が必要（特に2階，3階の場合） ・普段から家族で避難経路を話し合っておく必要がある。 ・学区で必要最小限の物資を備蓄しておくことも大切
なかった	<ul style="list-style-type: none"> ・避難計画に沿って避難することができた。 ・各町内会の防災マップが活用できた。 ・比較的，平坦で安全な地域のため，避難はスムーズであった。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・災害によって避難経路を考えておく必要がある。 ・「垂直避難」も避難訓練としたため，自宅2階に留まった人もいた。 ・車での避難など，状況に応じた行動が必要であることを確認した。

(2) 避難訓練以外の訓練の実施状況

実施した	40学区	60%
実施していない	27学区	40%

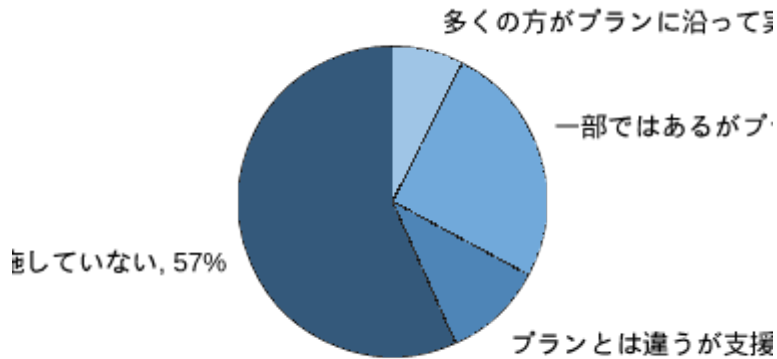


【学区で実施した訓練の内容】

- ・防災講演会，DVD鑑賞（14学区）
- ・炊き出し訓練（9学区）
- ・その他，在住外国人の参加，防災マップ・簡易トイレ作成 など
- ・土のう作成（12学区）
- ・防災グッズ，非常持出品等の展示（4学区）

(3) 避難支援プラン（個別計画）に基づく避難支援訓練の実施状況

多くの方が避難支援プランに沿って実施した	5学区	8%
一部の方がモデル的に避難支援プランに沿って実施した	17学区	25%
避難支援プランとは違うが避難場所への移動支援を実施した	7学区	10%
避難場所への移動支援を実施していない	38学区	57%

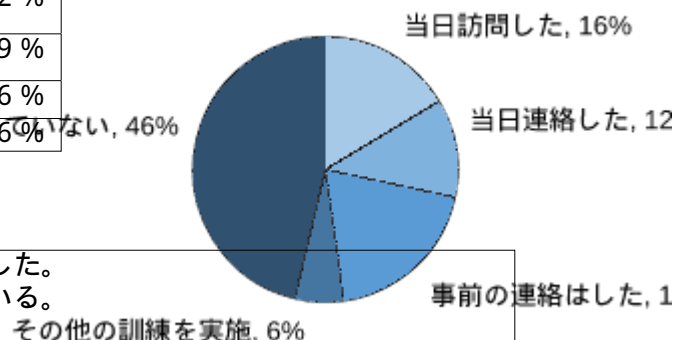


【それぞれの主な理由】

多くの方が避難支援プランに沿って実施	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練前に住民学習会を実施し、避難場所の見直し、支援体制の確認を行った。 ・学区全体で、各地域の状況に合わせて一時避難場所を決めた。
一部の人ではあるがモデル的に避難支援プランに沿って実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会に要支援者への声かけや避難支援を呼びかけたが、町内によって温度差があり、全体では実施できなかった。 ・各町内会で支援者を決めているが、全体で把握できていないため、今後は町内会と連携した訓練などが必要
避難支援プランとは違うが避難場所への移動支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所による避難の声かけを行った。 ・避難支援者と連携し、今回は公民館に集合とした。 ・要支援者を訪問し避難を呼びかけたが、実際に避難したかどうかの把握はできていない。
避難場所への移動支援を実施していない	<ul style="list-style-type: none"> ・車イス、担架などが必要 ・避難訓練とは別に、避難支援訓練を実施したい。 ・避難支援プランを再整備した上で、避難支援訓練を実施したい。 ・避難行動要支援者への対応が地域によって異なる。(高齢者世帯だけを対象とする地域とそうでない地域など) ・避難支援の訓練は実施しなかったが、車イスで参加した方がいた。(付き添い者あり)

(4) 声掛けや電話連絡等の訓練の実施状況(避難場所への移動支援を実施しなかった場合)

当日、訪問をした	11学区	17%
当日、連絡をした	8学区	12%
事前の連絡はした	13学区	19%
その他の訓練を実施した	4学区	6%
実施していない	31学区	46%



【その他の訓練の内容】

<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会長に要支援者リストを地図上で確認した。 ・別途、避難支援を含めた防災訓練を実施している。

【実施していない主な理由】

<ul style="list-style-type: none"> ・避難支援プランが策定できておらず、具体的な取組が困難であった。 ・学区で避難支援が進んでいないといった課題は認識されているが、住民の機運が盛り上がり実施に至らなかった。

(5) 「避難行動要支援者 避難支援制度」に関する課題等のご意見

<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者と支援者との話し合いができておらず、訓練に参加しにくい状況 ・役員の交替時に引き継ぎができていない。支援者が決まっていない。 ・要支援者に対して支援制度への登録を進めるが、登録者が少ない状況

<ul style="list-style-type: none"> ・住民に支援制度をどう周知していくかが課題 ・歩行困難な要支援者の移動手段を考えておくことが必要 ・避難行動要支援者には2階への避難を促した。 ・いざという時に備えて、常日頃からの声かけや見守りが大事 ・避難支援プランが全く機能していない状況があり，市は町内会等に任せるだけでなく積極的に関わってもらいたい。 ・避難行動要支援の取組を進めるためには，支援者の育成とあわせて，地域コミュニティの構築が必要であり，行政の支援をお願いしたい。 ・積極的な取組は考えていない。（町内会未加入世帯が大半で顔も知らない状況）

5 今回の訓練を通じた課題や市への意見

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営訓練に他学区からの参加が少なかった。避難訓練と別の日がよい。 ・小中高の生徒や保護者，企業，病院，福祉施設の参加を検討してもらいたい。 ・携帯電話にメールが届かなかったという人がいた。
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は繰り返し行うことが大切 ・学区単位よりも，各町内会や隣近所での自主防の育成や訓練が必要 ・他学区の訓練を参考にしたい。（見学したい。） ・総合防災訓練に参加するためには，学区の訓練内容等を早くから検討できるように，訓練概要を年度当初に示してもらいたい。 ・防災組織の見直しに着手しており，必要に応じて市の支援をお願いしたい。 ・地震を想定して実施してほしい。（豪雨による影響は地域で異なるため。） ・総合防災訓練に全学区が参加する取組が必要 ・臨場感のある訓練にする工夫が必要（事前に詳細を公表しないなど） ・11月の第4日曜日は地域で行事を予定しており参加が難しい。（日程を変更してほしい。学区訓練は別の日に行っている。）